

REAYU

CREATED BY KATSUICHI

REAYU～リアユ～

創造的破壊もしくは破壊的創造か…

この10数年で日本の鮎釣りの先端技術は、世界に誇るテクノロジーを生み続けた、その反面、大きな“創造”も“破壊”も行われていないのも事実である。

「競技思考」は技術を向上させ、人技まで向上させ、究極へと導いた。

“REAYU” が求めているもの… あえて真逆かも知れない

それは今までの“競技”や“数釣り”という、鮎の考えでは無く、「鮎を日本を代表するゲームフィッシュ」としてとらえるからだ。

“REAYU” 始動の本質は「鮎のゲームフィッシング化」である。

例えば

キャスティングで鮎を狙うスタイルや、
オトリ屋さんが無い天然河川で鮎釣りを始めるのもよし！
近くの川に鮎が居るなら、夕方だけ、おかし釣りの数匹を狙う事も。

少しの時間だけでも、鮎との“知恵くらべ”を愉しめる！
そして、もっと手軽に鮎という魚と触れ合う方法を増やしてみよう！

ルアーを操作し、“なわばり”に入れてやる
水中がギラギラときらめく。そうルアーの周りに鮎の魚体が光る。
その瞬間だ…

真黄色な鮎のリアルな生命感が竿に伝わる！

きっと友釣りよりもっとルアーフィッシングに近い感覚を覚えるだろう

まさに新世界への幕開けだ。



鮎疑似餌研究所
久保浩一 所長

求めたのはリアルな鮎 高耐久シリコン採用・サイレント設計で野鮎に近づけた！

リアユ 125S

¥OPEN 重量：約20g **中規模河川・水量のある河川等に最適**

REAYUのフラッグシップモデルがこの「リアユ125S」。
高耐久シリコン素材採用、サイレント設計のシンキングタイプ・バイブレーション系ルアーです。
通常の鮎の友釣りタックルで使用出来ます。
引き釣りをイメージした釣り方で野鮎を攻略出来ます。

Color chart



カラー 品番
シルバー鮎 400272



カラー 品番
イエロー鮎 400289



カラー 品番
プレミアム鮎 400296



友釣り仕掛のまま使える

リアユ125S・105Sは友釣りのオトリ確保を前提に開発。ハナカン、逆バリ等、鮎の仕掛をさせる事が最大の特徴です。初期から盛期の鮎釣りに対応しています。



スポットアイ

凹んだ穴を両サイドに設置。ポイントによってハナカンを通すアイの位置を変える事により、ルアーの動きをポイントに合わせる事が可能です！



逆バリが刺せる

耐久性のあるシリコン素材を採用しているため、逆バリを色んな場所に打つ事が可能です。もちろん、薄刺しすれば、アタリとともに逆バリが切れて外れます！



サイレント設計

リアユ最大のアドバンテージとして、軟質シリコンを選定し、サイレント設計を実現。野鮎のナワバリである岩に当たった時も、音が鳴らず、野鮎に警戒感を与えません。



シンキング・バイブレーション

前方重心のシンキングルアーの為、ハナカンを通す位置が背中側になればなるほど、バイブレーション機能を発揮します。今まで不可能だった岩の底を攻める！



エアロフィン採用

水流に対する静粛性と潜入効率を高める為、エアロフィンを採用。流れのヨレの影響で、バックスライドした場合でも、水流をすぐさま受け入れ、水流を瞬時につかめます！

河川では管理漁協により、ルアーによるアユ釣りや、リール付きロッドでのキャスティングによる鮎釣りを禁止している河川が御座います。使用の際は必ず、河川の遊漁券・遊漁規則等を守り、鮎釣りを行って下さい。

日本を代表する魚「鮎」驚く事に、鮎は環境次第で1年に30cmもの成長を遂げる。その成長を助けるのが、川底や川石に付くコケ。コケの良く成長する石は、野鮎にとってはまさに城。鮎はその城を守るべく、無数の鮎がなわばりを意識し、水中では我こそはと鮎達が城を奪い合う「城取り合戦」が繰り広げられている。

鮎の友釣りとは、こんな中から生まれた釣法。なわばりに入った別の鮎を城主が、急所の尾びれ付近にアタックし、追って城外に出す。追った時、近くにある針に掛かるのが鮎の友釣りの原理だ。

まさにゲームフィッシュと呼ぶべき習性を持つ魚である。

小河川・浅場に対応!リアルなビリアルユ

Baby REAYU



ベビーリアユ 105S



リアユ 125S

更に手軽にポイント攻略!ビリアルサイズのリアユ

ベビーリアユ 105S

¥OPEN 重量: 約15g 小規模河川・上流域等に最適

センサーショナルなデビューを果たしたニュースタイル友鮎ルアー「リアユ125S」。その基本性能はそのままに小河川や上流域の水量の少ないポイントでも使用可能な軽量・サイズダウンモデルです。

キャストゲームでもより操作性が向上。REAYUシリーズが新たな鮎釣りスタイルを提唱していきます。

Color chart



カラー 品番
シルバー鮎 400708



カラー 品番
イエロー鮎 400715



カラー 品番
プレミアム鮎 400722

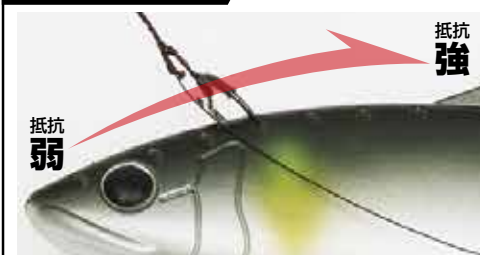
使用方法 シンキング型バイブレーション系、鮎釣り専用ルアーです。通常の鮎竿、鮎ハナカン仕掛けで簡単に使用できます。

基本的に、9m前後の鮎釣りタックルで使用出来ます。ハナカン周りの仕掛けも同じものを使用できます。オトリ確保を目指す際には、まず、足場が良く、浅場の瀬や落ち込み等を狙って下さい。深場や荒瀬で使用し、根掛かりすると回収出来なくなる事があります。緩やかな流れのポイントでは引き釣りの感覚で「リアユ」を操作する事ができ、同じポイントを狙い続けるより、野鮎が好むポイントを効果的に探り、一番鮎をターゲットに釣りを進めるのが、オトリを早期に確保するコツです。

リアユの最大の特徴は、底石や野鮎がなわばりを張る岩をタイトに攻めても通常のプラスチックルアーのような衝撃音は発生しません。また底波などの影響で浮上した際も、エアロフィンの採用で、水流をつかみ、まるで鮎のように流れをつかみ直します。このアドバンテージにより、野鮎に対して極めて大胆、かつ繊細にアプローチが可能です。

リアユだから出来る効果的な攻め方で、効率良くポイントを探して下さい。

ハナカンの刺し方



リアユの背中にはスポットアイ(凹み)があり、この凹みがハナカンやスナップを通すアイになります。

基本は3~5つ目、真ん中付近の凹みにハナカンを通します。背中側に近づくにつれ潜行深度が増し、バイブレーション機能が高くなり、引き抵抗が強くなります。

*このルアーはシンキングタイプです。ラインのテンションを緩めると、流れの無い場所では沈下し、根掛かりする可能性があります。

ハナカン进行する場合は、右写真のように、同じ位置の凹みにまっすぐ平行に刺して下さい。ハナカンが平行にならない場合はルアーの動きに影響が出ます。最初、刺す際は力が必要です。ハナカンの先端形状により刺しにくい場合がありますので、釣行前に「まち針」などで仮差しておくとう便利です。



基本的なスポットアイ位置とポイントの関係

鼻 側: ドチャラや水深 20cm 程度のポイント等

中 間: 水深の浅い瀬や緩い流れのポイント等

背中側: 水深の深い場所や瀬落ち、トロ場等

逆バリの刺し方



シリコン素材の為、尻ビレだけでなく、アブラビレや尾ビレなど、簡単に刺す事ができます。薄く刺せば、アタリで逆バリは外れます。錨ハリスの長さは通常の鮎釣りよりも長めに設定して下さい。短すぎるとボディに刺さりやすくなります。また定期的に錨が刺さっていないかチェックして下さい。